

「愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」による令和３年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の検証について

まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会開催日：令和５年２月６日（月）

【効果検証結果（全１８事業）】

A	事業効果・手法について、適当であった。	１７事業
B	事業効果はあったが、効率性・達成度がやや劣った。	１事業
C	有効性がやや劣った。	—
D	事業として不適切であった。	—

【委員からの意見】

○プレミアム商品券は、大型店と小売店で使用できるものの２通りがあるが、ほとんどの人が大型店で利用されていると思う。利用価値としてもったいないと感じる。

○事業の評価については方法が一番重要である。サンプリングの仕方などで評価が変わってくる可能性があるのも、なかなか難しいとは思いますが、定量的な手法を検討すべきではないかと思う。

○申請書作成等システム導入事業については、マイナンバーカードを持っていない方は利用することが出来ないという話だが、普及率の低迷は市だけの責任ではないと思う。

○マイナンバーカードについては、色々と危惧される部分はあるが、本人確認の手段としては当然重要なものであるのもので、広報等きっちりとやっていただきたい。

○全体的に評価は高く良いが、市は色々な取組みを推進している中で、今後のことを考えると、維持していくことは非常に難しい気がする。公助に頼りすぎている部分があるので、どう共助できるかを考える必要がある。